



2019年度 年主題「ことばに満たされて～ひびきあう」

**1・2歳児 10月主題 「楽しい」**  
**月のねがい**  
 ◎見えない神様の存在を感じ、安心する  
 ◎保育者や周りの友だちと共感しながら過ごす  
 ◎言葉のやり取りが面白くなる  
 ◎からだを動かすことを楽しむ

**3・4・5歳児 10月主題 「楽しむ」**  
**月のねがい**  
 ◎神さまからいただいている賜物を活かし合う  
 ◎遊びの中で工夫してつくりだすことの楽しさを知る  
 ◎遊びに熱中し、くり返し取りくむ中で、思いを伝え合う経験をする  
 ◎音楽・ダンス・造形・ことば等で表出することや表現することを喜ぶ



**とんぼのうんどうかい**

今年の運動会は、絵本“とんぼのうんどうかい”(かこさとし作)からヒントをいただいて、野外劇やゲームを作っています。  
 子どもたちがいつも遊ばせてもらっている児童公園には、バッタやコオロギ、トンボがいっぱい生息しています。いつも虫たちを見つけては、観察を楽しみ、虫網を構え必死に追いかけています。虫たちを見つくと無性に捕まえたくなり、目で追いながら、芝生の上をかけずりまわり、夢中になって遊んでいます。  
 先日、保護者の方から、「Y子がおばあちゃんの家に行っている時、トンボ採りに夢中になり、虫かごに何十匹もつかまえていました。おばあちゃんにそんなに捕まえてなにをするの?って言われたんですよ」と教えていただきました。まさしく、無我夢中という言葉がぴったりのY子ちゃんの姿ですね。  
 私が子どもだったころ、まだ、遊ぶ場所が沢山あって、子ども同士が群れ集い、夕方になるまでたっぴりと遊んでいました。日が暮れるころ、「あー、面白かった!いっぱい遊んだ!もう帰ろう!」「また明日あそぼうねー!」と言いながらそれぞれの家に帰って行ったものです。現在は、たっぴりと遊べる場所が無くなってきましたが、“あそんで あそんで ぼくらはおおきくなる”ということばの通り、夢中になって遊び、時間を忘れてたくさん遊んだときに、子どもたちの豊かな心と体が培われていくのだと思います。どうか、天気が守られ、かわいいトンボたちが元気に児童公園を飛び回る楽しい運動会となるよう祈りながら、土曜日を待ちたいと思います。 園長



**今月の聖句** 主よ 地はあなたのめぐみに満ちています。

詩篇119:64  
 ぶどうは根、幹、枝を持つ実を結ぶ植物です。根と幹はぶどうの木の本体です。実は根、幹からのちと栄養を受け、成長して実を結びます。  
 今月の言葉はイエス様につながることによって人間として、神にも人にも喜ばれる実を結ぶと教えます。表記の言葉の前4節では、「わたし(イエスさまのこと)につながっていない。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたもわたしにつながっていないければ実を結ぶことができない。」とあります。つながるとは教えを聞き、従う生活することです。  
 イエスにつながっていればどんな実をむすぶのでしょうか。パウロという7世紀の伝道者が以下のように教えています。「肉の業は姦淫、わいせつ、好色、敵意、争い、ねえみ、怒り、利己心、不和、仲間争い、ねたみ、泥酔、酒宴のたぐい。これらを行う者は神の国を受け継ぐことはできません。(天国には入れないということです)これに対して、キリストにつながっている人は霊の実を結びます。すなわち、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。」人は皆、肉の実を離れ霊の実を結びたいものです。そのために神の助けが必要です。  
 前理事長・牧師 故池田公栄



**10月の行事予定**

5日(土)	第62回大運動会
6日(日)	運動会予備日
7日(月)	振替休日(1号)
13日(日)	市民体育祭(5才児)
16日(水)	秋の遠足(3才以上児)
18日(金)	おにぎりパーティー
23日(水)	内科検診(3才以上児)
24日(木)	秋の遠足(0・1・2才児)
31日(木)	内科検診(0・1・2才児)

**11月の行事予定**

5日(火)	誕生会(2才以上児)
12日(火)	スープパーティー&弁当日
16日(土)	入園説明会
26日(火)	弁当日
27日(水)	給食バイキング(3才以上)
30日(土)	持久走大会・弁当日
予定	やきいもパーティー



じいじ先生の残したもの ～探求・感謝～  
 今のところ台風十八号の影響はなく雨の心配はなさそうですが、まだまだ油断は禁物です。心地よい秋空の下での運動会になるよう祈っていきたくと思います。が、何より子どもたちの健康が守られますように。  
 季節はスポーツの秋真っ只中。ラグビーワールドカップに世界陸上と大いに盛り上がりつつあります。中でも、世界ランク二位のアイランドに逆転勝ちした日本代表に日本中が歓喜しました。後半の集中力には、あたかも目に見えない大きな力が働いているかのようでした。  
 皆さんは「フロア体験」という言葉をご存じでしょうか。ハンガリー生まれのアメリカの心理学者ミハイ・チクセントミハイ氏が唱えた理論です。氏が「人の幸福とは何か」について研究している時にフロア体験に気づいたそうです。芸術家や科学者が富や名声のためではなく、興味や関心のあることに自分の人生をかけているのはなぜだろうと思います。研究を続ける中で、彼らは、我を忘れて夢中になることが多く、強く幸せを感じている瞬間があるのだと理解しました。つまりフロア体験は、ただ打ち込むだけでなく、幸せを感じながら楽しむ、何かに熱中している状態と言えます。幼いうちに遊びや日常生活で多くのフロア体験をした人は、その後成長してもフロアになりやすいとされています。この体験では、外部から何か褒めをもらえるから集中するのではなく、自らの内側からの熱情が、集中を高める状態に導いてくれるようです。幼少期にたくさんフロア体験で幸福を感じ、フロア体験になつていけば、勉強や仕事でも「自分がやりたいからやる」というポジティブな姿勢につながるのではないのでしょうか。フロア体験の基本は、子ども自身が「楽しい!」と思ってチャレンジすることだと思えます。これも園の生活の中で、たくさんさんの経験を重ねながら、本当に好きなことを見つけてほしいものです。  
 前理事長であった故池田公栄が残した碑文に『探求・感謝』という言葉があります。これは、幼児教育とそれに関わる者の姿勢を示す真髄であると、私は確信しております。日々の生活を守られ、生かされていることに感謝を忘れない。自分の好きなことに熱中し求め続けること。何より池田自身が探求と感謝の人でありました。一晩中紙のコマを作り、ひたすら街中の枯れ葉を集め堆肥にし、科学や音楽を愛し、いつも聖書を学び続けていた姿を思い起こします。子どもたちと共にこの言葉を胸に刻み続けたいと思います。  
 子どもたちがもっとも活発な活動を展開する実りの時期です。ゆつくりと周囲の自然を観察しながら落ち着いた時間を満喫したいと思えます。運動会、芋掘り、遠足など屋外での活動を通して、いのちはずむ時となることでしょう。  
 学園長

子どもと一緒に遊ぼう! V ～体幹バランス・ポーズ～

子どもたちの大好きな夏が過ぎ、爽やかな秋、運動の秋がやってきました。10月5日の運動会に向けて子どもたちは開閉会式、かけっこ、野外劇、行進の練習など一生懸命がんばっています。そこで今回は、身体づくり遊び～体幹バランス・ポーズ～を紹介したいと思います。体幹バランスは筋肉強化ではなく、一定の姿勢を維持することで「筋肉の使い方」を身に付けます。筋肉を上手に使えるようになるためにはこのバランス能力の向上が欠かせません。体幹には体を支え、維持する働きがあります。そのため、体幹を鍛えることで、姿勢が良くなり、日常生活の立ち居振る舞いが安定します。また「運動能力が高まる」「自己抑制力が高まる」「学習意欲が高まる」といった効果もあるそうです。お父さんやお母さんと向き合って互いの姿勢を確認しながら行うことで「相手に合わせる力」「10回、などゴールの見通しを立てる」「集中力や持続力を高める」ことにも効果があるそうです。さあ「子どもと一緒に遊ぼう!」誘ってみてください。